

総合的な学習の時間の利用法

清教学園中学校

総合学習運営推進委員長 山本志保

文部科学省の意図を受けて

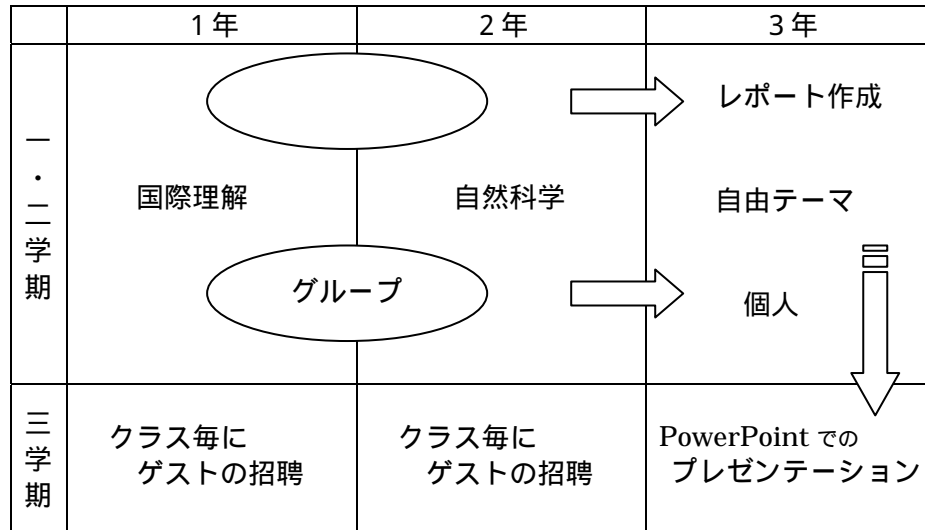
教科のわくをはずすことへの抵抗感

本校のスクールアイデンティティ「人間教育」と「進学実績」

教科へのフィードバックは条件からはずせない

身につけさせたい力 自分で学べる力 = 情報処理能力

3年間の流れ



チームティーチング

担当教科組み合わせ例 <担任と副担任 役割は対等に>

数学・国語 国語・英語 技家・理科 英語・社会 保体・数学
英語・音楽 保体・理科 理科・英語 英語・美術 保体・国語

「総合学習室」をつくる

図書室との通路 パソコン・無線LANの設置 プロジェクタ 普通机

必要なプリント・文房具類（資料カード・記録表・評価表・原稿用紙...）の常設

新しい要素の導入

<機器の使用> パソコン OHC プロジェクタ <メディアの利用> Web 書籍

<チーム・ティーチング> 一学年全てが同じ内容を扱う <外部講師の招聘>

総合学習運営推進委員会の組織

委員長	全体の調整 方向付け 学年主担のサポート
├ 各学年主担当	各学年の年間の計画作成・運営全般
│ └ 各学年副担当	主担当者のサポートとバックアップ 学年団全体との調整（学年主任）
├ 技術家庭科担当者	技術家庭科で教える内容との関連付け 教員の機器使用技術の習得に関すること
└ 図書館司書	図書資料の拡充 生徒の図書館利用指導
	+ 中学教頭

一年を終えて

生徒の感想 「一年間のふり返っての自己評価」より

楽しかった。やはり自分の知らない世界が分かるなんて素晴らしいことだと思った。一番、去年と今年でもおもしろかった（興味があった）のはやはりメキシコだった。ついこの間までメキシコという国はもうインディオなんかいなくて、メキシコシティにはアメリカのような高層ビルが...とか思っていたけど、実際インディオはいっぱいいるし、近代化といってもまだまだ進んでいないし、とにかく驚いた。自分はまだまだへん屈に固まっているのが初めて分かった。でも、本当の国というものをわかってもらうには、その国に行き、自分の目で確かめるのが一番であるし、その国の独特の文化などは、自分の目で見てさわって見て、食べて、飲んだりしないと分からないと思う。それが実感できたのはセシュラムさんが清教学園に来て下さって、カレーを頂いた時、その時の感想が「あれ香しん料ってこんな味なの？」と思った。本を読んで、自分でこんなんだなぁと思っていた物と全くちがった。その時に「あっインドのカレーでこういう物かぁ」とインドのカレーを食べたぞぁーという実感が持てた。これからもこういう機会があって欲しいと思う。 (1年男子)

最初、総合学習と聞いた時はやる気が出なかったが、やってみるとなかなかおもしろくて、難しかった。調べるのはまだ楽なほうだけど、まとめて発表するとなるとなかなかできなかった。発表というのは自分がわかってから理解できるだけで、内容を知らない人たちにはなかなか伝わらないものだなと思った。それは自分が他人の発表を聞いた時にも同じなので、人の発表を聞くときは集中しないと内容がわからなくなる。やっぱり発表はかんたんに出来るものではないと思わされた。(ゲストを迎えて)ジュゴンと聞いて最初に思った事は、正直言って「たいくつな事」だと思っていた。なぜならジュゴンについての知識をほとんど持っていなかったからだ。けれど、五人の方が来て、発表を聞いたあとは「ジュゴン」という動物について多からず少なからず興味を持てたと思う。ジュゴンはいろいろな事を守らなければすぐに絶滅してしまう。ジュゴンに限らず他の動物を守るためには、自分たちの都合で動いては動物の保護等をしている人の努力が水の泡になる。だから、今その事に気付いていない人も後で後悔すると思うので、一刻も早く気付いてほしいと願う。 (2年男子)